

石井としひろの「館山市政かわら版」

(平成30年7月29日発行)

敏 宏

館山市議会議員

景観まちづくりと地域活性化



1、景観まちづくり

①自然と歴史を大事にしよう

現在、私は館山市の景観計画を策定する委員をやっています。そこで議論をしていて改めて感じるのが、海・山をはじめとする自然、歴史のある建物と文化が大事だということです。館山市の景観計画とそれを実現するための景観条例は来年完成する予定で、ある意味、館山市の未来への方向性を示す計画になると思います。

②南校の校舎を守ろう



【県指定有形文化財 旧南高第一校舎】

旧南高跡地には既に消防署が入っていますが今後、警察署と安房合同庁舎も移転してくる予定になっています。また、将来的には市役所が入る可能性も否定できません。

現在、旧南高第一校舎は県指定有形文化財です。館山市としても保存していきたいと考えているところです。しかし、こうした歴史的建造物は、10年～20年が経過すると、初心を忘れ、いつの間にか取り壊しが決まってしまうということが全国的にもよくありました。

そのようなことにならないように、今後とも、旧南高第一校舎をしっかり見守っていきます。また、市議会においても景観計画審議会においてもそのことを主張致しました。

③沖ノ島に新しい常設トイレを！



沖ノ島でも、島の中には、常設トイレが1つあり、夏場は仮設トイレも設置してなんとかしていますが、観光客数の激増で苦しいところです。やはり常設トイレを進路のあたりにもう1つ欲しいものです。今後、防衛省などと協議して設置に向けて動いて欲しいと市に要望しました。沖ノ島の自然環境も大事に守っていかねばなりません。

④環境破壊をやめさせよう

(1) 環境破壊型メガソーラの問題

鴨川市内において森林を破壊して、日本最大級のメガソーラを設置する計画が残念ながら進んでしまっています。自然エネルギーというのは、自然環境を守るために導入するものですが、これでは本末転倒です。この森林破壊型メガソーラは全国的な問題になっており、景観条例において一定の規制を設ける市町村が増えてきました。

館山市においても、景観や自然環境とマッチしないメガソーラが散見されるような気がします。今後は館山市においても一定の規制をしていくよう働きかけていきます。

(2) 残土問題



【残土処分場のイメージ図】

館山市内の残土問題は相変わらず続いており、「ダンプの危険走行」「崩落の危険性」など市民からの声があると、県へ改善を要望しています。

また、景観や自然環境とマッチしない廃棄物埋立は、景観条例において一定の規制を設けるように取り組んでいきます。

2、地域活性化について

①経済活性化と地域活性化の違い

個々の事業者が利益率を上げていく「経済活性化」と、文

化と伝統を継承し、親睦を図り、住みよいまちづくりをしていく「地域活性化」は違うと思います。まずは、地域活性化の課題をいくつか取り上げてみます。

②花火大会は8月8日であるべきか？



毎年、花火大会は8月8日で固定されていますが、それでいいのかという議論があります。

そのままが良いという意見もあれば、土日にした方がいいという意見もありました。

ただ、そもそも夏は観光客が多いのだから、夏ではない秋冬などの閑散期にした方が観光客誘致効果が高いという意見もありました。

稼ぐという経済性を重視すれば、夏ではない方が合理的だと思います。これは経済活性化の観点です。

一方、現状通り、慣れ親しんだ夏にやるというのは、稼ぐための観光花火大会というより、市民が楽しむ市民花火大会という観点に基づきます。これは地域活性化の発想です。

なお、花火大会がいつまでも続くとは言えません。他市町村の例を見ると、財政が悪化すると花火大会は廃止か縮小されています。今一度、市民の皆さまには花火大会のあり方について考えて頂きたいと思います。

③里見まつりは城山でできないのか？

今年も北条海岸付近で行われる里見まつりですが、昔のように城山でやりたいという声を結構、耳にします。それで、議会において市長に質問したことがあるのですが、「城山でやりたいという人が多いが、交通渋滞が起き、警察の了解がもらえない」というような話でした。

規模を小さくして、城山で行うという手もあるのではないのでしょうか。来年以降のあり方について、里見まつり関係者で協議して頂ければと思います。

④あらゆる市民活動が人手不足

私も伝統・文化・環境保全など様々な市民活動に参加していますが、議員になった7年前と比べると、どこも人が減ってきています。高齢化により活動に参加できなくなった人が増え、また新たな会員が入って来ないからです。そして、若い方々の話を聞くと、多くが仕事と家庭に忙しく余裕がないのです。

一方、市役所職員数は7年前とあまり変わりませんが、市役所というのは福祉サービスがメインなので、高齢化に伴い仕事量が増大しています。市役所もアップアップなのです。

⑤市民参加のまちづくりが実現の方向へ

私が議員2期目の挑戦にあたり掲げた政策の筆頭に「市政への住民参加」があります。市役所と議会だけで重要決定をするのではなく、政策決定の過程において市民にも参加の機会をつくり、また施策の実施にあたっては、市民・行政・議会が協力して取り組んでいくというものです。

議会においては、議会報告&意見交換会を年1回行っています。(今年は10月27日(土)午前中の開催予定です。詳細は後日、議会から連絡があります。)

また、去年は行政においても、市長と市職員が市民との意見交換会を開催しました。以前と比べ、このように市民が意見を言える機会は増えています。(市民の参加者は多くなく、年齢層も中高年がほとんどです。ただ、全ての市民に機会は開かれているので、それでもいいと思います。)

そして現在、市で策定中の「協働条例」が出来れば、更に市民参加が進みます。前述のように、もう市民も行政もマンパワーが足りません。ですから、一緒に決めて、より連携した活動をしていかななくては館山市は持ちません。これは少子高齢化時代の必然でもあります。

⑥情報公開は道半ば・・・

一方、市民参加と同様に政策の筆頭に上げた「情報公開」は進みが遅い状況です。市民参加といっても、十分な質と量の情報がなければ、的確な判断はできないので、情報公開は必要不可欠なのです。

引き続き予算編成過程の公表、議会においては全ての会議の原則公開などを求めています。現状においては市民が知らされていないことが多すぎます。

<お知らせ>

「市政報告&意見交換会」を行います。
7月30日(月) 菜の花ホール1F集会室

(北条中央公園と図書館の近く)

時間：19:00~20:30頃

入場無料・予約不要なので当日、お気軽にお越し下さい。質疑応答の時間も設けます。市内・市外も政治的立場も関係ありませんので、安房地域の方はどなたでもご参加の程をよろしくお願ひします。

石井としひろ 略歴
昭和47年2月26日生まれ。
館山二中、安房高、立教大学法学部卒業。平成23年4月に館山市議会議員に初当選。



<発行者> 石井敏宏

〒294-0038 館山市上真倉320-2

TEL&FAX: 0470-23-7738

携帯: 090-1557-5515

メール ishiitoshihiro1@gmail.com

ブログ <http://ameblo.jp/ishiitoshihiro/>